

TPP参加は社会を土台からくつがえす稀代の愚策 JA・生協などが参加したTPP問題を考えるシンポジウム

日本共産党群馬県委員会と前橋地区委員会は16日、前橋市で「TPP問題を考えるシンポジウム」を開き、JAなど農業関係者や県内各地から約260人が参加し、パネリストには、紙智子参議院議員、JA群馬中央会の榎原俊彦農業対策部長、木村一彦南八幡宮農組長、林かの子県生協連女性協議会会長が務めました。

榎原俊彦農業対策部長は、「TPP参加は社会を土台からくつがえす」とのべ、紙智子参議院議員は、全国の地方議会で、反対の意見書が可決されていることを紹介し、「国のあり方が問われる問題」とのべ、参加者の発言も交え、論議しました。



振興局の市民課を総務課に統合 4月から組織機構改革

民生部を市民部（市民課、税務課、生活課、環境課）と福祉部（社会福祉課、子ども課、高齢福祉課、健康課）の2部とし、商工観光課を産業振興課と観光交流課に改編、建設部と街なか対策部を統合し、都市建設部とするなどの組織機構改革（案）が総務文教委員協議会に報告されました。

白沢と利根の振興局の市民課は、総務課に統合され、振興局では1課減ることになりますが、振興局での市民サービスの低下や、意思決定などの意思決定の低下が心配されます。

3月15日から市内全域でフレッツ光利用可能に 事前受付がはじまっています

地域情報通信基盤整備事業によるブロードバンド・サービスの提供が3月15日開始予定で、事前の申し込み受付がはじまっています。

沼田市が整備した光ファイバー網をNTT東日本が借りて、「フレッツ光ネクスト」のサービスを提供するというものです。

利根郡内の町村も同じ事業で、光ファイバー網が整備され、利根沼田全域でブロードバンド・サービスが受けられることとなります。

福を求め市民でにぎわった 威勢のいいよび声に誘われて だるま市

沼田市の正月の恒例行事となっているだるま市が16日、本町通りでおこなわれました。



2011年1月23日

NO. 243

だるまや招き猫を売る露店が約30店ならび、「商売繁盛」「家内安全」などを願い、福を求める市民でにぎわいました。

須賀神社で、だるま供養がおこなわれました。

日本共産党 大東のびゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



「忠実な執行者」としての性格をいっそう強めていますが、こうした異常を抜け出さないかぎり、政権そのものの未来はありません。

今回の改造内閣は、行き詰まりを深める菅政権が、頼みの綱とする財界とアメリカのた
めに、消費税増税やTPPへの参加、日米同盟の「深化」など、その要求の
「忠実な執行者」としての性格をいっそう強めていますが、こうした異常を
抜け出さないかぎり、政権そのものの未来はありません。

こんにちは 大東のぶゆきです



ぶらり散歩 めまた道 白沢町

禅定院の開山は、比叡山第二代座主慈覚大師で、承和14年（847）葛原親王の開基と伝えられている古寺です。

ご本尊は、延命地藏尊で、開眼読経の地藏といわれ、弘法大師の彫刻と伝えられています。

禅定院には、田植えの忙しい時、どこのだれとも知れない男



「小藍村」と彫られている庚申塔

その十四 尾合 禅定院 明暦3年の庚申塔



田植え地蔵の話が伝わる禅定院

が田植えを手伝ってくれ、夕方になると黙って帰っていくので、あとをつけてみると、禅定院の門で見失ってしまい、住職がご本尊様に泥が付いていたことを村人に話したことから、「田植え地蔵」とよばれるようになりました。

明暦3年（1657）に建てられた庚申塔には、「小藍村」と彫られており、尾合の呼び名の変化を伝える貴重なもので、昔は五重の塔だったと考えられています。